



例会報告

第2652回



会長の時間 原 勉 会長

会長挨拶

皆さん、こんにちは。今日が4月の最後の例会になります。最近、ある人と話しをしていて、日本語がだんだん変化してきているという話になりました。

若い方は、よく言葉を短縮して使ったりしていることもありますが、会社に入っても敬語の使い方がわからなかったり、上司に対してもため口になっているということを目にしました。

ロータリークラブでも、いろいろの英語の頭文字で略されて使用しているの、わかりにくいこともあります。新しい方は慣れていって下さい。

ロータリークラブでは、最近ハラスメントや、危機管理についてよく話されています。普段の何気ない行動でも、相手が不快と感ずることがあります。

またそういったことで、あるロータリークラブで実際問題が起こった事例もあるようです。海外と日本との文化の違いがあります。また、

日本の中でも、地域や年代によっていろいろな考え方があるでしょう。

しかし、白山ロータリーの目標にもあります様に、思いやりの気持ちを持ちながらも、行動や発言には注意していきましょう。

お客様：北陸学院大学人間総合学部長 社会学科教授 真砂良則様



幹事報告
中村 幹事



委員会報告
中川委員



委員会報告



北陸学院大学 真砂良則様

◆プログラム◆卓話

北陸学院大学 真砂良則様
「社会福祉について」



社会奉仕委員会
杉本委員長

社会福祉について以下の3つの視点でお話しして頂きました。

- ・社会福祉について
語源や、社会福祉の理念及び社会保障制度の概要についてお話し頂きました。
- ・社会福祉をとりまく状況の変化
高齢化の進展、少子化の進展、世帯と家族の変化、地域構造の変化、就業構造の変化、これらが相互に関連しあって、社会福祉のニーズが拡大しているとのことでした。
- ・最近の地域課題と福祉施策の方向性について
地域の様々な福祉の課題ニーズの課題を互いに支えあって対応していく地域の共生社会を作っていくことが重要とのことでした。



ニコニコボックス報告
竹内 小委員長



出席報告
西尾 小委員長

